

## 資料2 - ①11月7日（土曜日）【本館】図書館シネマ『父の詫び状』

11月7日（土）、本館会議室にて向田邦子原作『父の詫び状』を上映しました。

『父の詫び状』は、昭和15年を舞台とした向田邦子の少女時代を綴ったエッセイ集です。戦前の懐かしい家庭をユーモラスに描き、絶賛されました。今回上映したドラマは、1986年にNHKによりドラマ化され、第13回放送文化基金賞本賞や、第24回プラハ国際テレビ祭金賞を受賞したものです。

当日は、70~80代を中心とした15名の方が参加してくださいました。参加者の皆さんからは、

「昭和の時代の父親の姿がしのばれました。」

「口うるさい父の、家族に対する愛情、それぞれの家族の気持ちが詩情豊かに、繊細に描かれていて、とても良いドラマであった。」

「なつかしい昭和のドラマでした。よかったです。」

などのご感想をいただき、楽しい上映会となりました。

今後も、皆さんに喜んでいただける図書館シネマを開催していきたいと思えます。



## 資料2－②8月1日（土曜日）【本館】夏の子どものつどい

夏のお楽しみ「なつこ」でおなじみの「夏の子どものつどい」を開催しました。今回はいつもよりも時間を短縮したり、人数を制限したり、ござの除菌、換気などのコロナ対策をして実施しました。例年と比べて参加人数は少ないですが、親子で楽しんでいる様子でした。

### ①「絵本の読み聞かせ」ひまわり倶楽部

手袋人形「くまくんのさんぽ」、絵本「お月さまってどんなあじ?」、紙芝居「でんしゃがくるよ」、パネルシアター「ひよこちゃんのピクニック」を行いました。パネルシアター「ひよこちゃんのピクニック」では、次々に出てくるくだものの色に変化するひよこちゃんに歓声が上がりました。

### ②「絵本の読み聞かせ」和光絵本とお話の会

大型絵本「きんぎょがにげた」、大型絵本「よかったねネッドくん」、大型紙芝居「密林ーきれいなひょうの話」、パネルシアター「まる さんかく しかく」を行いました。大型紙芝居「密林ーきれいなひょうの話」は比較的長い話でしたが、色がきれいで話も面白く、子どもたちがよく聞いていました。

### ③「影絵」影絵サークルペンぎん

今年の影絵は、「花火」と「森のパーティー」を行いました。室内が暗くなっても泣き出す子どももなく、子どもたちは影絵に集中している様子で、途中退出することもなく、親子で楽しんでくれました。



## 資料2－③9月15日（火曜日）【本館】第四小学校へ訪問しました！

9月15日(火)に第四小学校の2年生3クラスを訪問しました。生活科「みんなでつかう まちの しせつ」の授業です。図書館の使い方についての紙芝居や、和光市図書館の案内、皆さんからの質問にもお答えしました。最後はお楽しみタイムで大型紙芝居も読みました。

例年であれば図書館に見学に来ていただいています。今回は新型コロナウイルスの影響で、【お届け講座】という形で体育館で実施しました。

図書館に来たことがあると手を挙げてくれた児童は半分くらいでした。今日の学習で図書館の使い方をマスターしたと思いますので、ぜひ図書館へ遊びにきてくださいね。



## 資料2－④9月19日（土）【本館】ビブリオバトルを開催しました

令和2年9月19日（土）和光市図書館会議室にて「第7回和光市図書館ビブリオバトル」を開催しました。

参加者（バトラー）は中学生3名で、少ない人数ではありましたが、どの発表も引き込まれる内容で、聴きごたえがありました。

どの発表も素晴らしく、読んでみたくなる内容でした。

今年のチャンプ本は、「神様のカルテ」に決定しました。ビブリオバトルで紹介された本は、和光市図書館（本館）のYAコーナーに展示してあり、貸出可能です。ぜひ読んでみてくださいね。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

紹介された本

- ・「神様のカルテ」
- ・「5分後に意外な結末 エメラルドに輝く風景」
- ・「博士の愛した数式」



## 資料2 - ⑤8月8日（土曜日）【分館】図書館クラブ「本の手書きPOPづくり」

8月8日（土曜日）図書館クラブ「本の手書きPOPづくり」を開催しました。

8月8日（土曜日）、午前10時から正午まで行われた、中高生対象の図書館クラブ事業「本の手書きPOPづくり」では、埼玉県立和光高等学校図書委員や和光市内外の中学生が、自分たちがおすすめする本のPOPを想いをこめて作ってくれました。

生徒たちが作成したPOPは、おすすめの本と一緒にYAコーナーに展示していますので、ぜひ、見に来てください。展示されている本は貸出しや予約もできます。



## 資料2－⑥10月23日（金曜日）～11月25日（水曜日）【本館&分館】読書月間イベントを行いました。

10月23日（金曜日）から11月25日（水曜日）にかけて「読書月間 GO TO ブックトラベル ～図書館まつりは中止になったけど、何もやらないなんて言ってない～」を開催しました。

新型コロナウイルス拡大防止のため図書館まつりが実施できなかったので、図書館内にて様々な小イベントを行いました。

まずはブックツリーです。ポップに「私のおすすめの本」を書いて貼ってもらい、みんなのお気に入りシェアします。写真左が本館、右が分館のものです。ちなみに分館の写真のわこうっちは身長約1.2m。見ごたえがあるので今度出てきた時はぜひ見てもらいたいです。

次は本館で行ったお楽しみバッグ配布です。職員お手製の英字新聞バッグには図書館おススメ本と雑誌付録引換券が入っており、カウンターで雑誌付録や東京メトロ印のスーパーボールとボールペンを交換できます。雑誌付録は毎年図書館まつりでやっていることもあって初日からたくさん来てくれました。なお、東京メトロさんはスーパーボール・ボールペンの提供だけでなく、他の展示にも協力してくれました。この後の写真で出てきます。

次は本館の写真展示です。下新倉2丁目にある古民家の管理をしている和光市古民家愛好会さんが、古民家で行っている行事や四季折々の花の写真を持って来てくれました。色彩がとても鮮やかでびっくりです。今後も四季の写真などを定期的に貼り出してくれるそうです。

次は、先ほど書いた東京メトロさんの協力展示です。

電車正面のポスターには、何と行先表示に「和光市図書館」と書いてくれています。メトロさんの凝りっぷりがすごい！ポスターも大きい！今も図書館に掲示しているのでぜひ見てください。

また、合わせて電車に関連した絵本も置きました。乗物に興味を持ってくれた和光っ子がたくさんいてくれるとうれしいです。

次は、分館の「おすすめ本X（エックス）」です。ヒントが書かれているだけの謎の梱包本を貸し出し、普段手に取らない新たな本との出会いを創る企画です。また、中に入っている引換券とオマケ交換ができます。良い出会いはあったでしょうか？

そのほかに、分館では幼児向けと小学生向けの「ブックビンゴ」も行いました。普段は本を20冊読んで読書通帳に記録しないと回せない「わこガチャ」を、幼児は読み聞かせ3冊、小学生は最低5冊読めば回せることもあり、たくさん子ども達がチャレンジしてくれました。小学生は「ブックツリー」のポップを1枚書くことも条件だったので大変だったと思いますが、一生懸命取り組んでくれば来年は図書館まつり開催がどうなるか未定ですが、なくてもこのような形で元気にやっていますので、足を運んでみてください。



ブックツリー (本館)



ブックツリー (分館)



お楽しみバック



写真展示



東京メトロとわこうっちのコラボ



おすすめ本X (エックス)

## 資料2 - ⑦7月18日（土曜日）【分館】ちぎり絵講座

7月18日（土曜日）ちぎり絵講座を開催しました

講師として吉田八重子さんをお招きし、子どもから大人までを対象にした「ちぎり絵」講座を開催しました。

今回の作品のテーマは「スイカ」。本物のスイカを間近に見ながら、新聞を小さくちぎってハガキに貼り、絵を形作っていきます。参加者の皆さんは、講師の方から直接助言をいただきながら、色を足したり、形を工夫したり、それぞれ個性あふれる作品を完成させました。

今回、ちぎり絵を貼るために使ったハガキは、市内「生活介護施設さつき苑」で手作りしている牛乳パックを再利用した紙を使ったものです。手作りの風合いが、ちぎり絵の魅力を引き立たせてくれました。

参加者の皆さんからは、「楽しかった」「家でもやってみたい」という声が聞かれました。参加者の皆さんの作品と、ちりぎ絵などに参考になる本を館内で紹介しています。ぜひ、分館へ見に来てください。



## 資料2 - ⑧8月28日（金曜日）【分館】第3回「みんなのひとハコ図書館」の展示が始まりました！

第3回みんなのひとハコ図書館（2020年9月22日まで展示中）

「わこうプレーパーク（わこう子育てネットワーク）」

テーマ

「子どもの遊び場・居場所づくり」

おすすめの1冊

「すべてのこどもにあそびを

ユニバーサルデザインによる公園の遊び場づくりガイド」

みんなの公園プロジェクト[編著] 萌文社

展示期間

2020年8月28日(金)から9月22日(火)まで

「みんなのひとハコ図書館」とは？

和光市図書館下新倉分館 ひとハコ図書館展示「ひとハコ図書館」は、小さな箱を小さな図書館に見立てて、市内で活躍する人やグループが「館長」になって、おすすめの本や、活動情報を紹介する展示スペースです。

「ひと（人）」と「ハコ（図書館）」をつなぐ場、また、「一箱（ひとはこ）」で展示することから、「ひとハコ図書館」と名前をつけ、この「ひとハコ図書館」の館長には、だれでもなることができます。館長になって、自分のおすすめの本を紹介し、みんなで本のバトンをつないでいきましょう。



